

平成 31 年度

事業計画

社会福祉法人 愛隣園

平成 31 年度法人事業計画書

1. 基本理念

「自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ」

聖書 ルカによる福音書第 10 章第 27 節

2. 基本方針

当法人にとっては、昭和 5 年に保育園が三津の地に開園したのが第一ステージの幕開けとすれば、昭和 48 年に特別養護老人ホームガリラヤ荘のオープンが第二ステージの、そして第三ステージの幕開けが平成 29 年 5 月のガリラヤ久米のオープンと位置づけられるのではないかと考えている。

しかしながら、これからの第三ステージを取り巻く環境を見てみると、まずは社会福祉法人制度改革によって、法人経営の在り方が大きく変わるとともに地域における公益的な取組の実施が責務として規定されるといったようにまさに社会福祉法人としての真価が問われる時代を迎えようとしている一方、民間企業等の参入による競争の激化や財政悪化による社会保障費の抑制、さらには人口減少に伴う人手不足の深刻化など大変厳しい状況が待ち受けていることは間違いのない事実である。

このような中であって、当法人はこれまで保育園や高齢者福祉施設の運営を通じ質の高いサービスの提供を心掛けてきた結果、地域社会からはそれなりの高い評価をいただいているものと自負しているが、今まさに問われているのはこれまでの実績に安住することなくより一層質の高いサービスの提供を目指しながらこの厳しい局面をどう乗り越えていくかということである。

ある経営者が「脱皮しない蛇は死ぬ」と言っているが、これからの大きな変化に適切に対応できないときのリスクは大変大きいものがあり、このまま手をこまねいていると法人そのものの行く末をも左右しかねないそんな事態が発生することも想定される。

第三ステージを迎えた今こそ、こうした社会福祉法人を取り巻く環境や来るべき将来をきちんと見据え、まさに時代を先取りした法人経営の確立に向けた取り組みを展開していかなければならないと考えている。

3. 重点的な取組目標

(1) 本部機能の強化

ガリラヤ久米開設に伴い事業規模の拡大した当法人にとって、これからの厳しい時代、様々な経営課題に適切に対処していくためには、施設中心から法人全体をグループ経営の視点で捉えた組織的な経営に転換していくことが必要不可欠である。

そのため、法人全体を俯瞰した企画管理業務を中心に、人事・労務・会計など

も一元的に処理する本部事務局体制の構築に向けた検討を平成30年度から行っているところであり、今年度は昨年度の検討結果なども踏まえ当法人にふさわしい本部事務局の組織・陣容、事務処理体制などの具体化に努めていくものとする。

(2) 中長期計画策定の検討

社会福祉法人の経営を取り巻く環境は前述したように大きく変化してきている。このような状況の中にあって、当法人が永続的に安定した経営を続けていくためには、法人自らが将来に向けた「見通し」をしっかりと持ち、それに基づいた取り組みを着実に進めていくことが重要である。

中長期計画策定の目的は、まさにその「見通し」を得ることにあると言えるが、残念ながら当法人には確固とした基本理念はあるもののこの理念を具体化していくための中長期計画が策定されていないのが現状である。

このため、法人としての将来の見通し、方向性を明確化する中長期計画の策定に向けた検討を進めるものとする。

(3) 法人経営基盤の強化

建設資金の借入金が約21億円あり、2020年度からはガリラヤ久米の分で元金の返済が始まり法人全体の年間元利償還金が約9000万円になるといったこと、また、ガリラヤ荘においては築10年を経過し建物等の各所に不具合が生じてきているといったことなどから、これら借入金の償還及び修繕等の財源確保のためにも経営基盤の強化が不可欠である。

このため、会計の一元化による適切な資金管理や経費削減などの効率化に加えそれぞれの事業所の持ち味、強みを十分発揮しながら収益拡大に向けた取り組みを推進するものとする。

(4) 南海トラフ地震に向けた危機管理対策の充実

南海トラフを震源とするマグニチュード8から9クラスの地震が30年以内に発生する確率は70～80%とされており、当法人の各事業所も何らかの被害が発生する事態を前もって想定し、準備しておくことが重要である。

現在、各事業所ごとにはそれぞれ独自の防災対策を講じているが、加えて法人全体を網羅した防災対策を講じることはもとより「事業の継続」という観点からの事業継続計画（BCP）の策定についても早急な取り組みが必要と考えられる。

このため、南海トラフ地震に向けた危機管理対策（法人全体の防災対策の構築及び事業継続計画の策定等）の充実を図るものとする。

(5) 人材確保に向けた取り組みの強化

今後の法人経営の土台を揺るがしかねない最も深刻な問題は、介護等を支える人材をどう確保していくかということである。

働き手がどんどん減少していく中、人材確保対策においてはこれという決定打となるような解決策はないというのが正直なところであり、このような厳しい局面を打破していくためにはありとあらゆる手立てを講じていく必要があると考え

られる。

このため、次のような各種の人材確保に向けた取り組みを進めていくものとする。

- 高齢者、女性、障害者はもとより今後は外国人など、多様な人材を活用していく。
- インターネットの活用など求人募集方法が多様化していることから、これまでの求人の在り方についての抜本的な見直しを行う。
- 働き手が自らのニーズや希望などに合わせて働き方が選べ、また働きがいのある職場環境づくりを推進する。

(6) サービスの質の向上と人材の育成・定着に向けた取り組みの強化

今や「措置」の時代とは異なり、利用者に選ばれる時代であり、ポイントは、いかに「利用者満足度」の高いサービスを提供できるかどうかである。民間企業でいえばいかに「顧客満足度」の高いサービスを提供できるかであり、このことが企業存亡の分かれ道にもなりうるものである。

そして、このサービスの良しあしを決めるのはそこで働く人のレベルである。言ってみれば、そのサービスの内容や質が利用者の満足に、引いては施設や法人への評価に直結するということであり、結局は職員の働き自体が経営そのものを左右するといっても過言ではない。

このため、引き続き職員の専門知識の習得や技術向上のための教育・研修の充実に努め、常に利用者の立場に立って良質かつ適切なサービスが提供できるような体制づくりを推進するものとする。

また一方では、働き方改革に向けた取り組みが急務となっている中、職員誰もが高いモチベーションを維持しながらずっとここで働き続けたいと思えるような「職員満足度」の高い職場環境づくりを進めていくことは避けて通れない極めて重要な課題である。

このため、共通の指標、基準等で業績や働きに対して正当な評価を行い、それに基づいた昇給、昇格が行われているか、給与体系はそれに対応したものとなっているか、さらには正規雇用と非正規雇用の待遇の問題など、現行の人事労務の在り方を検証しながらより良いものへと改善していくものとする。

(7) 地域に支えられた法人経営の推進

社会福祉法人は、様々な地域づくりの活動に参画する一員であるとともに、福祉分野での専門性を活かし、地域住民の抱える様々な生活課題の解決に向けた支援を行う機関としての役割も担うことが期待されている。

このため、当法人の持つ高齢者及び子育て分野における専門性を活かした様々な公益的な取り組みを推進する。

また一方では、社会福祉法人は地域をはじめ多様な人々に支えられてこそ真に持続的な経営が可能となるものである。社会福祉法人の在り方が問われるなど大

きな転換期を迎えている昨今、なお一層多くの方々からの支援なくしてさらなる発展はあり得ないとの考えから、関係者の方々のお力添えをいただきながら後援会の立ち上げを働きかけていく。

4. 会 議

(1) 評議員会

役員を選任・解任や定款変更等法人運営の基本ルール・体制の決定を行う権限を有し、これを通じて理事等を牽制監督する役割を担っている。

開催：年3回程度（6月頃、12月頃、32年3月頃）

(2) 理事会

法人全体の業務執行に関する意思決定を行う権限や理事・理事長に対する牽制機能を有している。

開催：年3回程度（理事長の職務執行状況の報告、予算、決算等）

(3) 経営会議

理事長、各施設長等幹部職員で構成し、法人全体、各事業所の抱える諸課題等について協議し、方向性を見出していく。

開催：毎月1回

(4) その他

今後中長期計画の策定、危機管理体制の構築などにあたって検討協議すべき必要性が生じた場合には、その都度臨機応変にしかるべきメンバーを選出し委員会等を立ち上げるものとする。

2019年度(平成31年度)事業計画

愛隣こども園

1. 保育・教育 理念

多くの賜物を与えられて誕生した子どもたちを、ひとりひとり大切にみつめつつ保育及び教育をすることで、他者と共に生きることのできる子どもに育てる。

「自分を愛するようにあなたの隣人を愛しなさい。」 (聖書のことばから)

2. 保育・教育 方針

(1)「地域の人々と共に」

過疎化が進み高齢者が多くなりました。地域の人々と共に交流し、保護者の家庭を含めて共生する使命があります。

(2)「基本的習慣を身につけ養う」

他者と心をつなぐ道です。それは他者の人格を尊び、人権を大切にすることを育てることであります。

3. 保育・教育 目標

- (1) 基本的な生活習慣(しつけ)を身につけよう。
- (2) 他の子どもとともに生きる子どもになろう。
- (3) 自分を豊かに表現できる子どもになろう。
- (4) 主体的に活動できる子どもになろう。

4. 年齢区分別保育・教育目標

- | | |
|-----------|---|
| 乳児 | ▶ 愛着関係を築き、食事・睡眠・排泄のリズムを整え安心して生活する。 |
| 1歳以上3歳未満児 | ▶ 自分でやってみようという思いを大切に、「できた」という喜びを積み重ねる。 |
| 3歳児 | ▶ 身のまわりのことが、一人でできるようになる。友だちとの関わりを楽しむを味わう。 |
| 4・5歳児 | ▶ やってみようという思い、自分を表現する力を身につける。友だちと協力し合って一つのことをやりとげる喜びを味わう。 |

5. 乳幼児利用予定数

認定区分	3号認定 (保育認定)			2号認定 (保育認定)			1号認定 (教育標準時間認定)			
	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員	66名	3名	6名	12名	13名	13名	13名	2名	2名	2名
4月予定数	83名	5名	14名	16名	15名	13名	11名	3名	5名	1名

(参考)

認定区分	3号認定 (保育認定)			2号認定 (保育認定)			1号認定 (教育標準時間認定)			
	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	3歳児	4歳児	5歳児
30年度末人数 計82名		8名	14名	16名	14名	12名	13名	4名	1名	0名

6. 職員数

(4月1日予定)

	園長	主幹 保育教諭	保育教諭	保育士	調理員	事務員	計
正規職員	1名	1名	11名		2名		15名
臨時職員			5名	1名	1名	1名	8名
パート職員			2名				2名
計	1名	1名	18名	1名	3名	1名	25名

※嘱託の園医1名・園歯科医1名・園薬剤師1名

7. 地域子育て支援拠点事業

平成29年度より松山市の委託を受けて、地域子育て支援拠点事業を開始し31年度も引き続き行う。地域子育て支援拠点事業とは、地域で子育てを支えるため、当事者相互の交流を図り、子育ての不安や悩みを相談し、助言や援助を受けられる場所を設定する事業をいう。

核家族化や地域のつながりが希薄化したため、とくに乳幼児の子育てが孤立化する傾向が強まっている。子育て中で外出機会の少ない保護者の身近な場所で、孤独感や不安を緩和し、子どもの健やかな成長を支援することが目的である。

地域子育て支援拠点事業の主な活動予定

主な活動	内 容
施設の開放	月～金 10:00～15:00 地域交流室・ホールの一部 園庭を開放
育児相談	電話、来園時等、担当や主幹保育教諭、園長等が様々な相談に応じる。
育児講座の開催	季節の製作、給食の試食会、遠足等企画して月に2回程度行う。
情報提供	行政・医療機関、遊び場やイベントの情報、近隣の保育園・幼稚園等の情報また、当園の一時保育の紹介や給食のレシピを配布する。
絵本の貸出	絵本や育児、離乳食等の本の貸出を行う。
あかちゃん広場 親子ふれあい広場	0歳児を対象にした遊び等の提供、育児の情報交換 親子同士での友だち作りや遊び等の提供

三津浜・高浜公民館
で月各1回ずつ開催

8. 一時預かり事業

保護者が仕事、介護、病気、通院をはじめ、学校・幼稚園の行事、子育てに疲れた時、美容室や習い事等リフレッシュも考慮し、子どもにとっても保護者にとっても心の拠りどころとなるようにする。

年齢 1歳から就学前まで

時間 8:30 ～ 17:00

料金 日額 1,500円(給食代・おやつ代含む)

一日の定員 12名程度

9. 延長保育事業

保護者の就労形態の多様化、通勤時間に合わせて保護者が安心して子育てができるよう対応する。子どもの年齢、生活のリズムや心身の状態に合わせ職員の協力体制、家庭との連携、保育の内容や方法にも十分配慮して行う。少人数の保育になるので、一人ひとりにゆったりと関わり、家庭的な雰囲気保育する。

時間 18:00 ～ 19:00

料金 月額 2,500円

日額 260円

※ おやつ代含む

10. 療育支援、障がい児保育

発達のゆるやかな子どもや丁寧な配慮が必要な子どもの育ちについて担任だけでなく、職員が正しい知識を学び、受け入れ態勢を整える。くるみ園をはじめ専門機関との連携をとり、発達にあった関わりを指導してもらったり、職員と話し合う機会をもってもらい、就学前の教育相談が必要な場合も保護者と相談し、その子にとって最善の教育が受けられるよう小学校、教育委員会とも連携をとる。

11. 職員の資質の向上

- ・「幼保連携型認定こども園教育保育要領」の改訂にあたり各指導計画の見直しを2018年度に行ったが、より実態に即した指導計画になるようリーダーを中心に検証する。
- ・分野別リーダーに任命されている中堅職員は、キャリアアップ研修に参加させ知識、技術の習得を学びを深める。(処遇改善の一環)
- ・資質向上計画を基に、松山市保育会・県、全国の保育協議会や社会福祉協議会が主催する各種研修会やキリスト教保育所同盟の研修会、子ども子育て連絡協議会の研修等に積極的に・計画的に参加する。研修会報告や学んだことを日々の保育・教育に活かすことで他の職員と学びを共有する。
- ・若い職員に日々のミーティングの中で情報共有だけでなく、当園の大事にしている保育教育について事例の中で具体的に伝えていく。

12. 食育

- ・イベント的な食育ではなく、日々、ランチルームで給食を食べる中、調理員の仕事を知り感謝の気持ちをもつことができる。
- ・未満児の食具の見直しをし、個々にあった食具で自分で食べる意欲を高めるようにする。
- ・食するときの望ましい姿勢、箸の持ち方ができるよう職員が意識し積み重ねを大事にする。
- ・野菜栽培やクッキングを通し旬の味を感じ、季節や食べ物の興味を持つ。
- ・調理員と保育教諭と連携をとりながら、日常の保育・教育の中に食育を意識した活動を取り入れる。また、行事食や郷土料理を給食の中に取り入れ、関心をもつことができるようにする。
- ・地産地消を心がける。

13. 地域との連携

- ・地域に園の行事等の案内をしたり、地域の行事にもできるだけ参加する。
- ・小学校と連携をとり交流活動に参加したり、中・高生の職場体験、また養成校の実習生を積極的に受け入れたりする。
- ・地域の高齢者やなごみの会との交流を行う。

14. 年間行事計画(案)

月	主な行事	その他	月	主な行事	その他
4月	入園式	尿検査 内科・歯科検診	10月	運動会	三津浜・津田中学生職場体験 わくわく交流会
5月	歓迎遠足	家庭訪問	11月	感謝祭 秋の遠足	内科・歯科検診 保護者会主催ミニバザー
6月	保育・教育参観 花の日	給食嗜好調査 東雲大学実習生受け入れ	12月	クリスマス祝会	三津浜小学校生との交流
7月	プール開き 海水浴(ごご島)	聖カタリナ短期大学 実習生受け入れ	1月	もちつき大会	
8月		愛媛県西中等教育 学校 保育体験	2月	お別れ遠足	防災センター見学 (年長・年中児)
9月	敬老参観日	なごみの会と交流	3月	遊戯会・卒園式	新入園児面接

※ 毎月1回…誕生日会

※ 毎月1回…避難訓練

※ ガリラヤ荘、ガリラヤ久米の高齢者との交流は未定

1.運営理念

『 今、ここで生きている
人々に寄り添うことを使命とする 』

2.基本方針

- I 個別援助の徹底 …………… 個別ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを目指す。
- II 地域包括ケアの推進 …………… 関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。
- III 地域福祉の推進 …………… 地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを目指す。
- IV 職員の資質向上 …………… 自己研鑽に励み、成長を続けることを目指す。

3.重点目標

- 《1》「ノーリフティング」ケアの構築
- 《2》平穩ケア(トータルケア)の定着
- 《3》安心と信頼ある地域密着の施設創り
- 《4》人材育成と安定した施設運営の基盤整備

4.重点目標に対する取り組み

No	基本方針	重点目標	取組事項	取組内容
1	I IV	《1》《2》	命と尊厳を守り 安心して生活 できる施設づくり	① 基礎介護力を高め、多職種協働によるトータルケアの実践(「食べる口」から「出す口」まで尊厳あるケア) ② 利用者の自立をサポートするためにノーリフティングケアの実践(拘縮・褥瘡予防の抱え上げないケア) ③ 利用者の人権、プライバシーの保護と共に、虐待防止・身体拘束廃止の徹底 ④ インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症予防の徹底。(集団発生0件目標)
2	II III	《1》《2》《3》	在宅生活継続の 支援	① 地域関係機関と連携し、地域の福祉ニーズを捉えて地域包括ケアを推進 ② 在宅生活をトータル的にサポートするために在宅部門の連携(トータルケアの実践・ノーリフティングケアの提案)
3	III	《3》《4》	地域・広報活動 の充実	① 地域における公益的な取り組みとして、地域活動の推進(男性介護者対象のおとこ塾・地域サロンへの出前講座等) ② 幼・保育園・学校との交流と、住民ボランティアの積極的受入れ(地域住民防災組織との連携) ③ ホームページ・ブログ等による情報発信
4	IV	《1》《4》	やりがいを感じ 働きやすい 職場づくり	① ノーリフティングケアの実践による労働環境改善(腰痛予防等) ② スタッフ心身の徹底(えがお大賞実施)と、職員育成の推進 ③ リフレッシュ休暇及び年次有給休暇の計画的取得とストレスマネジメント対応(ストレスチェック実施)
5		《4》	安定運営の確保	① 各事業所毎の目標数値設定とコスト(ムリ・ムラ・ムダのない)管理

事業所名(部署) 特別養護老人ホーム・短期入所

1.運営理念

『今、ここで生きている人々に寄り添うことを使命とする』

2.基本方針

- I 個別援助の徹底 …… 個別ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを目指す。
- II 地域包括ケアの推進 …… 関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。
- III 地域福祉の推進 …… 地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを目指す。
- IV 職員の資質向上 …… 自己研鑽に励み、成長を続けることを目指す。

『目標稼働率(特養)97.5%、(短期)90%』

3.重点目標

- 《1》「ノーリフティング」ケアの構築 …… 入居者の拘縮予防と職員の腰痛予防
- 《2》平穏ケア(トータルケア)の実践により、穏やかな生活の支援 …… 「食と排泄」ケアの充実
- 《3》利用者がうらおい、笑顔のある暮らしと喜びを感じる毎日を作りだすケア …… 「HOL(Happiness of life)」の推進
- 《4》利用者の重度化に対応する研修及びチームケアの定着

4.重点目標に対する取り組み

No	基本方針	重点目標	取組事項	取組内容
1	I II III 《1》《2》	トータルケアの実践	<p>① 多職種協働における専門的ケアを以て、誤嚥性肺炎による入院を予防する。</p> <p>『目標:誤嚥性肺炎(8名以下)、尿路感染症(0名)、総延入院日数550日以内』</p> <p>② 経口維持、移行のため多職種によるミールラウンド、カンファレンスを行い、最期まで口から食べることができるケアを提供する。</p> <p>③ 排泄の原因等についてアセスメントを行い、計画に基づく支援を提供し、排泄ケアの向上を目指す。</p> <p>④ トイレでの排泄支援を目的としたケア向上を目指し、オムツ使用者の減少につなげるケアを確立する。</p> <p>⑤ 感染症発生0を目指すし、平常時から感染予防に努める。</p> <p>① トータルケアや看とりについて、家族・地域へ情報発信し、理解、協力を得ることで取組の促進を図り、施設での穏やかな暮らしのサポートを行う。</p> <p>② 多職種または他事業所と情報を共有し検討を行うことにより、最期まで安心した在宅生活を送れるよう支援する。</p> <p>① BPSDの悪化につながる、身体の問題を見極めながら根拠ある丁寧なケアを実施し、穏やかな暮らしの支援を目指す。</p> <p>② 多職種との連携を図り、総合的な支援(食事・運動)を行いながら排泄用具の見直しと技術の習得を含め、より専門的な排泄ケアを目指す。</p> <p>③ 多職種と連携し、入居者の拘縮予防及び職員の腰痛予防のためノーリフティングへの取り組みを行う。</p>	<p>全部門 [共通 目標]</p> <p>相談部門 (特養)</p> <p>(短期)</p> <p>介護部門</p>

				看護部門	<p>① 自然排泄につながる支援を継続し、ノーリフティングを取り入れてトイレでの排泄を支援する</p> <p>② 総合記録シートを活用しながら異常の早期発見に努め、穏やかな暮らしの支援に努める。</p> <p>① 美味しく・楽しめる・体にやさしい食事を目指し、軟らかか食・ソフト食の質、見た目の向上に努める。</p> <p>② 玄米ご飯等、食物繊維の多い食事を提供し、自然排便の促進に努める。</p> <p>① ノーリフティングに取り組むことで、適切な移乗・排泄・入浴動作の獲得を目指す。</p> <p>② アンカーサポート、バックサポート等を適切に使用し、適切なポジョニングを行う。</p> <p>③ 口腔ケア(リハビリ)の周知徹底を目指す。特にお口の体操の実施を徹底する。</p>
2	I II III	《3》	イベント企画	全部門 相談部門	<p>① 利用者の笑顔につながるイベント企画をユニット単位で実践する。また個別支援(外出・外泊)の提案・実践を目指す。</p> <p>② 家族への働きかけ、またボランティア受入れの企画と実践を目指す。</p>
3	I	《3》	環境整備	介護部門	<p>① 穏やかに暮らすことができるよう、居室の環境整備を行う。(居室担当制、備品整備・環境美化係による実践)</p>
4	IV	《4》	研修運営	全部門	<p>① 基礎介護勉強会、上級介護勉強会、中途入職者研修の実施。エルダー制による職員育成を目指す。</p> <p>② リーダー対象勉強会の実施。リーダーを育成しリーダーを中心としたユニットの職員連携、ケアの向上を目指す。</p> <p>③ 年間計画に基づき、各種研修による職員の資質向上を目指す。</p>
5	I IV	《4》	多職種協働システム	全部門	<p>① 総合記録シートに基づいた記録を作成し、利用者の状態・状況把握を継続する。</p> <p>② オペレーションシート(業務一覧表)を継続し、シートを活用したチームケアの定着を目指す。</p> <p>③ 朝礼での適切な指示、部長・課長・主任・リーダーによる状態・状況のダブルチェック体制、各会議との連動を継続し、利用者一人ひとりにへのケアの見直し、評価ができる体制整備を継続する。</p> <p>④ アセスメントチェックシートを継続し、多職種での情報共有ツールとして、ケアの統一を目指す。</p> <p>⑤ カンファレンス(認知症カンファレンス、ミーララウンド等)の充実に図り、多職種協働で利用者の状態悪化を予防する。</p>
6	II III	《3》	災害・防犯対策	全部門	<p>① 防犯体制のチェック、見直し及び研修を実施することで、安心して生活できる施設づくりを行う。</p> <p>② 地震等の災害や火事発生等の非常時における訓練を実施するとともに、地域との協力体制の構築を目指す。</p>

事業所名(部署) 通所介護

1.運営理念

『今、ここで生きている
人々に寄り添うことを使命とする』

2.基本方針

- I 個別援助の徹底 …………… 個別ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを旨とする。
- II 地域包括ケアの推進 …………… 関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。
- III 地域福祉の推進 …………… 地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを旨とする。
- IV 職員の資質向上 …………… 自己研鑽に励み、成長を続けることを旨とする。

3.重点目標

- 《1》個別ケアとサービスの充実
- 《2》「ノーリフティング」ケアの構築
- 《3》家族・地域の住民・各事業所等との連携
- 《4》施設内・外の研修へ積極的に参加し、職員のスキルアップを図る

『目標登録平均人数：90名』

4.重点目標に対する取り組み

No	基本方針	重点目標	取組事項	取組内容
1	I II	《1》《2》	個別ケアの実施	① 在宅版総合記録シートを活用。情報の共有による個々の体調管理をサポート、きめ細やかなサービス提供を目指す。 ② HOL(happiness of life)の提供を目指して、アクティビティの充実を図り、利用者の笑顔を増やす。 ③ マシントレーニングとノーリフティングケアを取り組むことにより、利用者の在宅生活継続と身体機能の維持を目指す。 ④ 認知症の方が役割を持ち、在宅で穏やかに過ごすことができるように寄り添った支援をする。
2	II III	《3》	地域との交流	① 地域サロン等へ参加し、地域住民との関係を深める。 ② 菜合や意見交換会などへの参加により、地域の動向を知り、介護・医療連携を図ることができる。 ③ ボランティアの受け入れや地域(保育園・学校等)、家族(家族会等)との交流を増やす。
3	IV	《2》《4》	職員研修	① ノーリフティングケアの環境整備や勉強会を実施し、利用者や職員の身体的負担軽減を図る。 ② 施設内・外研修への参加や他施設への見学を行い、基礎介護力とサービスの質の向上を目指す。 ③ 業務内容の見直し(記録システムの改善、休暇取得できる体制作り等)
4		《2》	安定運営の確保	① 毎月の実績に関心を持ち、車輛や備品管理等のコスト意識を高める。 ② 行事予定表とブログの充実を図り、広報活動を通じて新規利用者の獲得を行う。 ③ 安定した運営のためにコスト意識を持ち、新たな加算取得を目指す。

事業所名(部署) 居宅・老人介護支援 ガリラヤ荘

1.運営理念

『今、ここで生きている人々に寄り添うことを使命とする』

2.基本方針

- I 個別援助の徹底 …………… 個別ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを目指す。
- II 地域包括ケアの推進 …………… 関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。
- III 地域福祉の推進 …………… 地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを目指す。
- IV 職員の資質向上 …………… 自己研鑽に励み、成長を続けることを目指す。

3.重点目標

- 《1》在宅高齢者に対し、適切な課題分析による健康管理や介護に必要な情報の提供を行い、重度化リスクの軽減を図る・・・ノーマリアテイニングケアの提案
- 《2》事業所内の研修や事例検討、外部研修等を通じて多くの制度の活用等ケアマネジメントの技術向上を図る
- 《3》地域と関わる機会を通じて施設や制度、サービスの周知を図り、地域全体のネットワーキングづくりを行う

『目標人数：支援:26名 介護:105名 訪問調査:6件/月』

4.重点目標に対する取り組み

No	基本方針	重点目標	取組事項	取組内容
1	I II	《1》《2》《3》	在宅生活の維持	トータルケアアセスメントシートによる課題分析をすることで個々の生活を具体的に把握し、自宅で安心して生活できるためのプランの立案やサービス事業所との連携を図る。 ① ② 総合支援事業を積極的に理解、啓発し、住民主体で生きがいや役割を持った生活が送れるようマネジメントを行う。 ③ 防災への意識を高め、発災時にも円滑な情報の収集やマネジメントが行える体制づくりを行う。
2	I IV	《2》《3》	資質の向上	① 事業所内・外の研修及び介護支援専門員による会議への参加や事例検討により、マネジメントの実践力を高め、在宅生活に必要な知識向上を目指す。(ノーマリアテイニングケアの習得) ② 障がいや医療分野等、他分野の制度理解や情報収集により、多様なサービスに対応する。 ③ 地域ケア会議への積極的な参加や事例提出を行い、地域全体の課題の表出や問題の提起に努める。
3	II III	《1》	地域活動への参加	① 勉強会や研修会等の市内関係機関の活動へ積極的に参加し、地域包括ケアの促進を図る。 ② 家族介護者の支援(おとこ塾等)及び、地域支援活動の推進(サロンへの出前講座等)において病气や介護の情報を発信し、介護予防の必要性や地域を支える互助の大切さを伝える。

事業所名(部署) 訪問介護(障がいを含む)

1.運営理念

『今、ここで生きている
人々に寄り添うことを使命とする』

2.基本方針

- I 個別援助の徹底 個別ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを目指す。
- II 地域包括ケアの推進 関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。
- III 地域福祉の推進 地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを目指す。
- IV 職員の資質向上 自己研鑽に励み、成長を続けることを目指す。

3.重点目標

- 《1》地域と家族の力を活かした事業所運営の基盤を整備する。
- 《2》施設内・外研修に参加し、ホームヘルパーの専門性と介護技術の向上を図る。
- 《3》効率的・安定的な事業所運営の基盤を整備する。

『目標人数(登録者): 要支援・要介護:50名/月
障がい:10名/月』

4.重点目標に対する取り組み

No	基本方針	重点目標	取組事項	取組内容
1	I II III	《1》《2》	利用者・家族・地域との交流促進	<ul style="list-style-type: none"> ①利用者だけでなく家族との交流も深め、問題の把握に努める。 ②在宅部門と連携し、おとこ塾・地域サロン等に参加・交流する ③地域と連携して、地域包括ケアの促進を目指す ④介護ネット東温への参加による地域ネットワークの構築
2	I IV	《1》《2》	専門性と介護技術の向上	<ul style="list-style-type: none"> ①身体介護を中心としたサービスへの移行に伴う、ホームヘルパーのスキルアップを図る。 ②在宅版総合記録シートを活用し、各職種との連携を図り、在宅生活をサポートする。 ③勉強会を通してヘルパーの基礎介護力を高め、資質の向上を図る。 ④毎月のヘルパー会において情報共有し、利用者が安心して在宅生活が送れるための改善点の検討を行う。
3		《3》	安定運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> ①毎月の実績に関心をもち、コスト意識を高める。 ②介護支援専門員と連携し、広報活動を行い、新規利用者を増やす。

2019年度（平成31年度）行事計画「施設部門」

ガリラヤ荘

上半期

月	施設（内部）	施設（外部）	各委員受入（予定）
4	永眠者記念会	森区清掃	松山城南高校（介護福祉）4/15-4/26
5	遠足 ワックス掛け（全館）	花の日訪問（東雲幼稚園・城南高等学校） 東温市防火管理者連絡協議会役員会総会	愛媛大学医学部看護科（体験）（予定） 河原医療福祉専門学校（介護福祉）5/24-6/21
6	【防災】総合訓練（南方東自主防災会合同）	花の日訪問（東雲中学校・川上教会）	河原医療福祉専門学校（介護福祉）-6/21 河原医療福祉専門学校（介護福祉）6/24-7/19
7	【防災】東温市防災センター（煙避難・地震体験）	夏休み福祉の仕事1日体験（職場体験学習）受入 東温高校奉仕活動	河原医療福祉専門学校（介護福祉）-7/19 東温高校（介初任実習）7/23-7/24 松山城南高校（介護福祉）7/29-8/9
8	入居者レントゲン検診 【防災】普通救命講習（Ⅰ）	しあわせのつどい（国際ホテル） 夏休み福祉の仕事1日体験反省報告会 観月祭花火観賞	聖カタリナ大学（社会福祉）8/5-8/30 松山東雲女子大学（社会福祉）8/17-9/19 聖カタリナ大学（介護福祉）8/5-8/30 聖カタリナ大学（介護福祉）8/8-9/4 松山城南高校（介護福祉）-8/9 松山城南高校（介護福祉）-8/5-8/20
9	東温市長一日施設長就任・赤ちやんこ贈呈式	地域運動会参加 東温市文化祭打ち合わせ 他施設夏祭り参加	聖カタリナ大学（社会福祉）-9/20 松山東雲女子大学（社会福祉）-9/19 聖カタリナ大学（介護福祉）-9/4 河原医療福祉専門学校（介護福祉）-9/16-10/18 河原医療福祉専門学校（介護福祉）9/9-10/18 河原医療大学校（老年看護学実習） 愛媛大学医学部（介護体験）

2019年度（平成31年度）行事計画「施設部門」

下半期		各実習受入（予定）	
月	施設（内部）	施設（外部）	
10	秋祭り（森地区／松瀬川地区獅子舞） 運動会		河原医療福祉専門学校（介護福祉）-10/18 松山城南高校（介護福祉）10/29-11/19 愛媛大学医学部看護科（老年看護学実習）
11	ガリラヤ柱感謝祭 【防犯】防犯訓練	収穫感謝訪問（松山城南高等学校・東雲幼稚園） 東温市文化祭出展・見学	河原医療福祉専門学校（介護福祉）11/4-11/22 松山城南高校（介護福祉）11/4-11/15 松山城南高校（介護福祉）-11/19 愛媛大学医学部（老年看護学実習）
12	クリスマス会 忘年会 【防災】水害避難・夜間想定消防訓練 【防災】シェイクアウトえひめ	東温市歳末施設訪問（共同募金） 川上教会クリスマス訪問 栄光教会クリスマス訪問	
1	新年会		松山城南高校（介護福祉）1/20-1/24
2			聖カタリナ大学（介護福祉）2/10-3/6 聖カタリナ大学（介護福祉）2/13-3/11 松山大学（社会福祉）2/1-3/9
3	家族会総会	消防出初式	松山大学（社会福祉）-3/9 聖カタリナ大学（介護福祉）-3/6 聖カタリナ大学（介護福祉）-3/11
予定	ユニット行事（毎月） 各食事会・喫茶 食事作り・おやつ作り 屋外散歩・シヨッピング 映画鑑賞 等 クラブ・レクリエーション活動 俳句会・・・第4水曜日 陶芸クラブ…第1・第3水曜日 音楽クラブ…週1回 風船パレ…週1回 習字の会…第2水曜日 縫布クラブ…第1火曜日	ボランティア等受入 介護相談員（傾聴・相談）…毎月 紙芝居ボランティア（余暇）…月2回 トーンチャイムレインボー（余暇）…年4回 オカリナーナをよ風（余暇）…年4回 笑顔に会いたい（傾聴）…毎月 喫茶ペリーバー…年6回	毎月 入居者体重測定 入居者誕生昼食会 ケアカンファレンス ミールラウンド 研修各種 委員会各種 会議各種 職員健康診断（年1回） 介護職（夜勤者）健康診断（年1回）

2019年度（平成31年度） 行事計画 「デイサービス部門」

ガリラヤ荘

上半期	デイサービス (内部)	デイサービス (外部)	各実習受入 (予定)
4	お花見ドライブ ぼたん見物		松山城南高校 (介護福祉) 4/16-4/27
5	こいのぼり見物 さつき見物		愛媛大学医学部看護科 (体験) (予定) 松山東雲短期大学 (介護福祉) 5/23-6/10
6	あじさい見物 【防災】総合訓練 (南方東自主防災会合同)		河原医療福祉専門学校 (介護福祉) 6/13-7/8 松山東雲短期大学-6/10
7	そうめん流し外出 【防災】東温市防災センター (煙避難・地震体験)	サマーボランティア受付~9月 夏休み福祉の仕事1日体験 (職場体験学習) 受入 東温高校奉仕活動	河原医療福祉専門学校 (介護福祉) -7/8 東温高校 (介初任実習) 7/26-7/27 松山城南高校 (介護福祉) 7/25-8/5
8	デイ夏祭り 【防災】普通救命講習 (I)	夏休み福祉の仕事1日体験反省報告会	聖カトリナ大学 (社会福祉) 8/5-9/6 松山東雲女子大学 (社会福祉) 8/17-9/16 聖カトリナ大学 (介護福祉) 8/11-9/7 松山城南高校 (介護福祉) 8/8-8/22 松山城南高校 (介護福祉) -8/5
9	東温市長一日施設長就任・赤ちやんこ贈呈式 運動会 ぶどう狩り外出	東温市意見交換会 東温市文化祭打合せ	聖カトリナ大学 (社会福祉) -9/6 松山東雲女子大学 (社会福祉) -9/16 河原医療福祉専門学校 (介護福祉) 9/12-9/30 河原医療大学 (老年看護学実習) 愛媛大学医学部 (介護体験)

2019年度（平成31年度） 行事計画 「デイサービス部門」

月	デイサービス (内部)	デイサービス (外部)	各実習受入 (予定)
10	<p>デイ運動会</p> <p>【防災】消防訓練 (夜間の通報・非常招集)</p>		<p>河原医療福祉専門学校 (介護福祉) 10/17-11/18</p> <p>松山城南高校 (介護福祉) ①10/31-11/18②10/31-11/11</p> <p>愛媛大学医学部看護科 (老年看護学実習)</p>
11	<p>ガリラヤ荘感謝祭</p> <p>紅葉狩り</p> <p>銀杏並木見物</p>	<p>東温市文化祭出展・見学</p> <p>川上小学校交流会</p>	<p>河原医療福祉専門学校 (介護福祉) -11/18</p> <p>松山城南高校 (介護福祉) ①-11/18②-11/11</p> <p>愛媛大学医学部 (老年看護学実習)</p>
12	<p>デイクリスマス会</p> <p>忘年会</p> <p>もちつき</p>	<p>川内保育園 (おゆうぎ会)</p> <p>ウィンターボランティア受入～ 1月</p>	
1	<p>初詣</p> <p>新年会</p>		<p>松山城南高校 (介護福祉) 1/23-1/27</p>
2	<p>節分 (豆まき)</p>		<p>聖カタリナ大学 (介護福祉) 2/13-3/10</p> <p>松山大学 (社会福祉) 2/3-3/2</p>
3	<p>梅見物</p> <p>菜の花畑見物</p> <p>いちご狩り外出</p>	<p>川内保育園 (おひなまつり会)</p> <p>川上幼稚園交流会</p>	<p>聖カタリナ大学 (介護福祉) -3/10</p> <p>松山大学 (社会福祉) -3/2</p>
予定	<p>陶芸・・・隔週水曜 歌声広場・・・年2回</p> <p>紙芝居・・・月1回 手工芸・・・年4回</p> <p>三味線・・・月2回 和太鼓・・・年1回</p> <p>シャンソン・・・隔月 ねむの会・・・年1回</p> <p>琴演奏会・・・月1回</p> <p>トーンチャイム・・・隔月</p> <p>健康講座・・・月1回</p> <p>傾聴ボランティア・・・隔月第4金曜</p> <p>フラダンス・・・不定期 カラオケ・・・不定期</p> <p>日本舞踊・・・不定期</p> <p>ギター演奏・・・不定期</p>	<p>川内保育園 (おひなまつり会)</p> <p>川上幼稚園交流会</p> <p>毎月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者体重測定 ・デイ会前会 (デイ会前) ・デイ会 (第3月曜) ・各種委員会 (毎週火曜) ・突合 ・おやつバイキング ・イベント食 ・外食 (月2回) ・隻手薬師参拜 (毎月12日) ・季節ドライフ ・請求業務 ・レジオネラ菌検査 (3か月毎) ・縫布クラブ (第1火曜日) 	<p>職員健康診断 (年1回)</p> <p>職員業務評価 (年2回)</p> <p>自己点検 (年度末)</p> <p>基礎介護勉強会</p> <p>上級介護勉強会</p> <p>職員会 (年4回)</p>

2019年度（平成31年度） 会議・委員会

＜平成31年4月～平成32年3月末＞ガリヤヤ荘

【会議】《全体》	開催日	時間	参加者	内容
運営会議 (部長/課長)	第3火曜	15:00～	理事長/施設長/各部長/各課長	ガリヤヤ荘における業務に関する話し合い(提案・実施状況) 各部着連絡・報告
職員会議	6月・9月 12月・3月・他	18:00～	全職員	施設運営に関する職員間の情報の共有。職員研修

【会議】《部門》	開催日	時間	参加者	内容
特養 短期 生活 支援 会議	ケアカンファレンス (サービスマネジメント)	第1週	各担当ケアマネ/部長/課長/主任/管理栄養士/機能訓練指導員	各計画検討(介護・栄養・機能)
	主任/リーダー会	第2水曜	生活支援部 部長	実習受入推進委員会 口腰ケア検討会を兼ねる
	ユニット会議	第4・5週	ユニット リーダー	ユニットにおけるケアの検討・確認
	ダブルチェック (ミニカンファレンス)	毎週火曜	生活支援部 部長/課長/主任	前週ケアの検討・確認
	ケニスガングアレンス (各困難事例検討)	随時	生活支援部 部長/課長/主任	認知症等困難事例 入・退院搬送等
	ミーティング (食事困難事例検討)	随時	生活支援部 部長/課長/主任	食事困難事例のラウンドおよび検討
	ティ会	第4週	生活支援部 主任	ティサービスにおける業務・事例検討
	ティ定例会	第3火曜	生活支援部 部長	ティサービスにおける業務に関する話し合い
	ヘルパー会	毎月末	サービスマネ 主任	訪問介護における業務・事例検討
	週例会	毎水曜	居宅主任	多職種協働による事例検討
居宅 支援 会議	東温市地域ケア会議	**	(主催：東温市包括支援センター)	介護保険関係情報、介護用品紹介等
	東温市・包括・在宅連絡会	**	(主催：東温市保険年金課)	地域高齢者の情報交換、連絡事項伝達
	介護ネットワーク東温	**	(事務局：東温市社会福祉協議会) ※在宅支援部門含む	専業訪問サービス実態確認、情報確認 研修、総会

【委員会】	開催日	時間	責任者	参加者	内容
全体	褥瘡予防委員会	毎月第2火曜	施設長		褥瘡予防の研修と予防・対応の検討
	衛生管理委員会	毎月第2火曜			感染症予防の研修と発症時の対応と報告
	(メンタルヘルス委員会含)	毎月第3火曜	施設長		身体拘束・虐待防止の研修と事例検討
	身体拘束虐待防止委員会	毎月第4火曜	施設長 生活支援部 部長/課長/主任	各部長/課長/主任、各ユニット担当者	事故報告の検討と再発防止対策
	事故防止委員会	毎月第4火曜			委託先業者を交えての給食に関する報告と検討
	栄養/給食委員会	毎月第4火曜			排せつケアの研修とケア向上に向けての対応後 討、討議作成
	排せつ委員会	隔月			歯科医師からの助言報告と口腔ケア計画の見直し ノーマルフティングの研修とケア向上に向けての対 応検討
	口腔ケア委員会	毎月			利用者の権利擁護及び苦情申出に対し公正かつ適 正に解決することを目的とする
	ノーマルフティング委員会	随時調整			救命講習と防犯訓練、消防訓練の計画・実施
	人権擁護並びに苦情相談委員会	年1回以上			在宅版総合記録シートへの導入、困難事例の検討、 おとこ塾・出前講座の企画及び調整
防火管理(消防/防犯訓練他)	年間5回				
在宅委員会	毎月第3火曜	15:00～	施設長/在宅支援部 部長/課長	施設長/在宅支援課部長・課長・主任	
入所判定委員会	毎月末	17:30～	施設長/生活支援部 部長/相談員	施設長/生活支援課部長・課長・相談員・介護主任・機能訓練指導員・外部委員2名	

2019年度(平成31年度) 研修計画

ガリラヤ荘

研修項目	対象	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外部研修(全体)		●中予・県老人福祉施設協議会主催各研修					NPO法人 全国ケア研究会				介護福祉士 社会福祉士 筆記試験	NPO法人 全国ケア研究会	
各資格取得試験(全体)		●ユニットリーダー研修 ●愛媛県介護職員研修						介護士 専門員試験					

研修項目	対象	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内部研修(全体)(各部門)		回数1	3	2	2	3	2	2	2	2	2	3	3
基礎介護	全職種 3回未受講者	新人/福祉研修 生活支援部 部長/副部長/生	認知症 主任/リーダー	排遣 主任/リーダー	食事 主任/リーダー	移乗 主任/リーダー			入浴/褥瘡 主任/リーダー				
上級介護(介護の知識50)	全職種 基礎介護3回受講者						介護50 生活支援課 部長/課長	介護50 生活支援課 部長/課長		介護50 生活支援課 部長/課長			

※希望に合わせて。 ※介護福祉士は基礎研修受講必須。

※2か月ごと、計6回程度(予定)

各試験対策講座	内容 担当												
トータルケア研修(泉田先生)	内容 担当												
口腔	内容 担当	2回×2(60m)											
事故防止	内容 担当	2回(60m)											
身体拘束虐待防止	内容 担当	2回(60m)											
ターミナルケア	内容 担当	2回(60m)											
ノーリフティング	内容 担当	**											
介護職医行為 フォロワーアップ研 修	内容 担当	2回×2(60m)											
衛生管理	内容 担当	2回(60m)											
接遇	内容 担当	2回(60m)											
職員会議	内容 担当	5回(60~120m)											
防災・救命	内容 担当	**											
デイ研修	内容 担当	デイサービス											
居宅・支援研修	内容 担当	居宅・支援セン ター											
居宅・支援研修	内容 担当	居宅・支援セン ター											

外部： 地域包括在宅介護支援センター 協議会・東温市ケアマネ勉強会等

外部： 地域包括在宅介護支援センター 協議会・東温市ケアマネ勉強会等

1.運営理念

『 今、ここで生きている
人々に寄り添うことを使命とする 』

2.基本方針

- I 個別援助の徹底 …………… 個別ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを旨とする。
- II 地域包括ケアの推進 …………… 関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。
- III 地域福祉の推進 …………… 地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを旨とする。
- IV 職員の資質向上 …………… 自己研鑽に励み、成長を続けることを旨とする。

3.重点目標

- 《1》 平穏ケア(トータルケア[※])を暮らしの基本としたケアシステムの構築 [※]全国高齢者ケア研究会が提唱する考え方やびシステム
- 《2》 地域との連携・関係を大切とした、安心と信頼ある施設創り
- 《3》 専門職としての人材育成強化と、安定した施設運営の基盤整備

4.重点目標に対する取り組み

No	基本方針	重点目標	取組事項	取組内容
1	I IV	《1》	命と尊厳を守り 安心して生活 できるケア構築	① 専門職として基礎介護力を高め、多職種連携による、生活支援の提供を行う。 ② 利用者の人権、プライバシーの保護と共に、虐待防止・身体拘束廃止を徹底する。(身体拘束0件目標) ③ インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症拡大防止に努める。(集団発生0件目標)
2	II III	《1》《2》	地域福祉の確立	① 地域での福祉拠点を旨とし、関係機関と連携・地域の福祉ニーズを捉えた取り組みを実現する。(サロン活動、出前講座) ② 地域行事への参加、学校、保育関係機関との連携など、積極的に関わる機会を設ける。 ③ 在宅生活をトータル的にサポートするため、システムの整備を行う。
3	III	《2》《3》	広報活動の充実	① ホームページ、SNSを活用した情報発信やデータ収集・分析を行い、必要な情報をより有効に利用できる環境を整備する。 ② イベントの企画・運営、ボランティア活動や関係機関の見学等の受入など計画的に実施する。
4	IV	《3》	やりがいを感じ 働きやすい 職場づくり	① ガリヤ久米スタッフ心得を常に意識した接遇に努め、運営理念に基づいたスタッフ教育を行う。 ② 福祉の専門職として各事業所・部署間のチームワーク体制を強化し、連携を密にとれる環境づくりを行う。 ③ スタッフが成長できる内部研修・外部研修への参加支援、また適正な人事考課を図り、効果的なスキルアップ環境を旨とする。
5	I II III IV V	《1》《2》《3》	安定運営の 確保	① 事業所の年間目標数値の達成とコスト(ムリ・ムラ・ムダのない)管理。 ② 制度改正、社会状況に合わせた施設運営を見据え、ICTの活用、介護機器(ロボット等)の導入に対する準備を検討・計画する。 ③ 事業運営に関わる財務・組織・管理における基盤の整備を図る。

1.運営理念

『今、ここで生きている人々に寄り添うことを使命とする』

2.基本方針

- I 個別援助の徹底
 - II 地域包括ケアの推進
 - III 地域福祉の推進
 - IV 職員の資質向上
- 個別ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを目指す。
 関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。
 地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを目指す。
 自己研鑽に励み、成長を続けることを目指す。

3.重点目標

- 《1》平穩ケア(トータルケア)の実践により、穏やかな生活と介護予防支援の確立
- 《2》利用者がうるおい、笑顔のある暮らしと喜びを感じる毎日を作りだすケア(ハピネスオブライフ)の確立
- 《3》利用者の状態、状況に合わせた対応ができるチームケアの確立

『目標稼働率(有料)88%』
 『イベント企画と環境整備』
 『研修運営と多職種協働システム』

4.重点目標に対する取り組み

No	基本方針	重点目標	取組事項	取組内容
1	I II III	《1》	トータルケアの実践	全部門 [共通 目標] ◇ 食事・排泄・口腔のケアに重点をおき、丁寧なケアに努め、誤嚥性肺炎、尿路感染症予防を行う。 BPSDの悪化につながら、身体の問題を見極めながら根拠あるケアを実践する。
2	I II III	《2》	イベント企画	全部門 [共通 目標] ◇ 積極的な外出支援、地域行事への参加を計画する。(行事予定表(毎月)) 介護予防につながらるアクティブ活動を重視したりハビリ活動を継続と、多種多様な余暇を企画する。(体操、散歩、奉仕活動等)
3	I	《2》	環境整備	全部門 [共通 目標] ◇ 自立から要支援、要介護状態、それぞれのニーズを把握し、共用スペースを活用した生活環境を目指す。(引きこもり予防) 介護が必要になっても安心して生活できる環境整備と、多職種連携により、質の高い支援を行う。
4	IV	《3》	研修運営	全部門 [共通 目標] ◇ 年間計画に基づき、各種研修による職員の資質向上を目指す。(研修・勉強会への参加) 特に基礎介護勉強会及びOJTシステムを活用した育成環境の整備を行う。
5	I IV	《3》	多職種協働システム	全部門 [共通 目標] ◇ アセスメントチェックシート、総合記録シートを使用した記録を作成し、利用者の状態・状況を適切に把握できるシステムの構築 オペレーションシート(業務一覧表)を活用したチームケアの確立を行う。(定期的なオペレーションシートの見直し)

1. 運営理念

『今、ここで生きている人々に寄り添うことを使命とする』

2. 基本方針

- I 個別援助の徹底
 - II 地域包括ケアの推進
 - III 地域福祉の推進
 - IV 職員の資質向上
- 個別ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを目指す。
 関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。
 地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを目指す。
 自己研鑽に励み、成長を続けることを目指す。

3. 重点目標

- 《1》 平穏ケア(トータルケア)の実践により、穏やかな生活と介護予防支援の確立
- 《2》 利用者がうらおい、笑顔のある暮らしと喜びを感じる毎日を作りだすケア(ハピネスオブライフ)の確立
- 《3》 利用者の状態、状況に合わせた対応ができるチームケアの確立

『目標稼働率(特養)96%、(短期)80%』
 『イベント企画と環境整備』
 『研修運営と多職種協働システム』

4. 重点目標に対する取り組み

No	基本方針	重点目標	取組事項	取組内容
1	I II III	《1》	トータルケアの実践	食事・排泄・口腔のケアに重点をおき、丁寧なケアに努め、誤嚥性肺炎、尿路感染症予防を行う。 ◇ BPSDの悪化につながる、身体の問題を見極めながら根拠あるケアを実践する。 下剤を調整し排便のコントロールを行うことで自然排便ができるよう支援する。
2	I II III	《2》	イベント企画	利用者の笑顔につながるイベント企画をユニット単位で実践する。 ◇ 家族への働きかけ、またボランティア受入れの企画と実践を目指す。
3	I	《2》	環境整備	穏やかに暮らすことができるよう、居室の環境整備を行う。(居室担当制、備品整備・環境美化による実践) ◇ 中重度の利用者が生活しやすい、安全な環境整備を行う。
4	IV	《3》	研修運営	年間計画に基づき、各種研修による職員の資質向上を目指す。 ◇ 特に基礎介護勉強会及びOJTシステムを活用した育成環境の整備を行う。
5	I IV	《3》	多職種協働システム	アセスメントチェックシート、総合記録シートを使用した記録を作成し、利用者の状態・状況を適切に把握できるシステムの構築 ◇ オペレーションシート(業務一覧表)を活用したチームケアの確立を行う。 ケアの見直し(ダブルチェック)や認知症カンファレンスを実施し早期に対応、状態悪化を予防する。

1.運営理念

『今、ここで生きている人々に寄り添うことを使命とする』

2.基本方針

- I 個別援助の徹底 …………… 個別ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを目指す。
- II 地域包括ケアの推進 …………… 関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。
- III 地域福祉の推進 …………… 地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを目指す。
- IV 職員の資質向上 …………… 自己研鑽に励み、成長を続けることを目指す。

3.重点目標

- 《1》 平穏ケア(トータルケア)の実践により、穏やかな生活と介護予防支援の確立
- 《2》 利用者がうるおい、笑顔のある暮らしと喜びを感じる毎日を作りだすケア(ハピネスオブライフ)の確立
- 《3》 利用者の状態、状況に合わせた対応ができるチームケアの確立

目標稼働率(GH)97%
『イベント企画と環境整備』
『研修運営と多職種協働システム』

4.重点目標に対する取り組み

No	基本方針	重点目標	取組事項	取組内容
1	I II III	《1》	トータルケアの実践	金部門 〔共通目標〕 ◇ 食事・排泄・口腔のケアに重点をおき、丁寧なケアに努め、誤嚥性肺炎、尿路感染症予防を行う。 ◇ BPSDの悪化につながらず、身体の問題を見極めながら根拠あるケアを実践する。 積極的な外出支援、地域行事に参加ができる体制づくり。
2	I II III	《2》	イベント企画	金部門 〔共通目標〕 ◇ 個別外出を計画し支援する。(誕生日に実施) 家族への働きかけ、またボランティア受入れの企画と実践を目指す。(毎月のおたよりを作り。家族会の実施)
3	I	《2》	環境整備	金部門 〔共通目標〕 ◇ テラスや畑など、戸外での活動を増やす。 生活場面において自立を支援する働きかけから、認知症予防につながる環境づくりを行う。(食堂、リビングでの共同作業)
4	IV	《3》	研修運営	金部門 〔共通目標〕 ◇ 年間計画に基づき、各種研修による職員の資質向上を目指す。 特に基礎介護勉強会及びOJTシステムを活用した育成環境の整備を行う。
5	I IV	《3》	多職種協働システム	金部門 〔共通目標〕 ◇ アセスメントチェックシート、総合記録シートを使用した記録を作成し、利用者の状態・状況を適切に把握できるシステムの構築 オペレーションシート(業務一覧表)を活用したチームケアの確立を行う。

1. 運営理念

『今、ここで生きている
人々に寄り添うことを使命とする』

2. 基本方針

- I 個別援助の徹底
 - II 地域包括ケアの推進
 - III 地域福祉の推進
 - IV 職員の資質向上
- 個別ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを目指す。
関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。
地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを目指す。
自己研鑽に励み、成長を続けることを目指す。

3. 重点目標

- 《1》個別ケアとサービスの充実
- 《2》家族・地域の住民・各事業所等との連携
- 《3》施設内・外の研修へ積極的に参加し、職員のスキルアップを図る

【目標人数 : 12名 / 日】

(要支援4名/日、要介護8名/日)

※下半期(定員変更)18名

【目標人数 : 15名/日】

(要支援4名/日、要介護10名/日)

4. 重点目標に対する取り組み

No	基本方針	重点目標	取組事項	取組内容
1	I・II	《1》	個別ケアの実施	<ul style="list-style-type: none"> ① 基本的な生活動作及び体力測定を実施し情報の共有を行い、きめ細かなサービス提供を目指す。 ② HOL (happiness of life) の提供を目指して、レクリエーション等アクティビティの充実を図る。 ③ マシントレーニング、レッドコードを含む個別機能訓練を充実させ、利用者の在宅生活継続と身体レベルの維持向上を目指す。
2	II・III	《2》	地域との交流	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域と連携し、地域包括ケアの促進を目指す。 ② ボランティアの受入れや地域(保育園・学校等)、家族が参加出来るレクリエーション実施し交流を増やす。 ③ 地域との交流を行い、地域の行事等へ積極的に参加する。
3	IV	《3》	職員研修	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域等の研修への参加、及び事業所内での勉強会の充実を図る。 ② 施設内・外研修に参加し、基礎介護とサービスの質の向上を目指す。 ③ 職員の適材適所を図り、職務分担を行う。
4		《2》	安定運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> ① 長期入院や他サービスとの併用による利用率の状況を把握し、介護支援専門員と連携をとりながら調整を行う。 ② 下半期からの利用定員変更(18名※3名増員)に向け整備を行う。 ④ 安定した運営のために、管理及びコスト意識を持つ。

1.運営理念

『今、ここで生きている
人々に寄り添うことを使命とする』

2.基本方針

- I 個別援助の徹底 …………… 個別ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを目指す。
- II 地域包括ケアの推進 …………… 関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。
- III 地域福祉の推進 …………… 地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを目指す。
- IV 職員の資質向上 …………… 自己研鑽に励み、成長を続けることを目指す。

3.重点目標

- 《1》在宅高齢者に対し、健康管理や介護に必要な情報の提供を個別的に行い、健康リスクの軽減を図る
- 《2》事業所内の研修や事例検討、実地演習及び外部研修等を通じてケアマネジメントの技術向上を図る
- 《3》地域と関わる機会を通じて施設や福祉の周知を図り、地域全体のネットワークづくりを行う

4.重点目標に対する取り組み

No	基本方針	重点目標	取組事項	取組内容
1	I II	《1》 《2》 《3》	在宅生活の維持	<p>① 在宅版総合記録シートやアセスメント表を活用し、自宅で安心して生活できるためのトータルケアを、サービス事業所と協働して行う。</p> <p>② 総合事業を理解し、住民主体で生きがいや役割を持った生活が送れるようマネジメントを行う。</p> <p>③ 地域包括支援センター等が主催する勉強会や地域活動の情報を収集し、社会資源を取り入れたマネジメントを行う。</p>
2	I IV	《2》 《3》	資質の向上	<p>① 事業所内・外の研修に参加し、基礎介護やマネージメント等の在宅生活に必要な知識向上を目指す。</p> <p>② 総合支援事業に円滑に移行できるよう情報収集をすとともに、地域に必要なサービスの提案を行う。</p>
3	II III	《1》	地域活動への参加	<p>① 勉強会や研修会等の市内関係機関の活動へ積極的に参加し、地域包括ケアの促進を図る。</p> <p>② 地域サロン活動の支援・交流を行い、地域の実情を把握するとともに、施設の周知を行う。</p>

目標人数：支援：8名 介護：30名』

※)1名体制による

2019年度(年度) 会議・委員会

<2019年5月～2020年4月末>

【会議】全体>

会議名	開催日	時間	参加者	内容
運営会議 (部長・課長会)	第**週	**	理事長/施設長/各部長/各課長/各主任	ガリラヤノ米における業務に関する話し合い(提案・実施状況) 各部署連絡・報告
職員会議	6月・9月 12月・3月・他	**	全職員	施設運営に関する職員間の情報の共有、職員研修

【会議】部門>

部門	会議名	開催日	時間	責任者	参加者	内容
グループ	生活支援会議	7月・9月・11月 1月・3月	**	管理者	施設職員、利用者、利用者家族、地域住民代表(町内会長、民生委員等)、市職員、地域包括支援センター職員、地域密着型サービスの知見を有する人など	県・向上を認める自己評価や外部評価結果の周知、目標達成計画の進捗確認、情報交換と共有、要望の把握
	ケアカンファレンス	第**週	**	計画作成担当者	計画作成担当者、介護職、他(必要に応じて専門職)	各計画検討(介護・栄養・機能)
	ユニット会議	第**週	**	管理者 計画作成担当者	管理者、計画作成担当者、介護職、他	ユニットにおけるケアの検討・確認
	ケースカンファレンス (各困難事例検討)	随時	随時調整	生活支援部	各事例に合わせて	食事・認知症困難事例 入・退院振り等
	運営推進会議(※2)	7月・9月・11月 1月・3月	**	生活相談員 施設ケアマネ	施設職員、利用者、利用者家族、地域住民代表(町内会長、民生委員等)、市職員、地域包括支援センター職員、地域密着型サービスの知見を有する人など	地域・ケアマネ・利用者・職員の連携、3S、調整、情報交換と共有、要望の把握
特養短期	ケアカンファレンス	第**週	**	施設ケアマネ	施設ケアマネ、介護主任、看護主任、管理栄養士、機能訓練指導員、生活相談員、他	各計画検討(介護・栄養・機能)
	主任/リーダー会議	第**週	**	介護主任 生活相談員	介護主任、生活相談員、ユニットリーダー、看護主任、管理栄養士、機能訓練指導員、施設ケアマネ、他	実習受入推進委員会 口腔ケア検討会を兼ねる
	ユニット会議	第**週	**	ユニット リーダー	介護主任、ユニットリーダー、介護職、他	ユニットにおけるケアの検討・確認
	ケースカンファレンス (各困難事例検討)	随時	随時調整	生活支援部	各事例に合わせて	食事・認知症困難事例 入・退院振り等
	ケアカンファレンス	第**週	**	計画作成担当者	計画作成担当者、生活相談員、介護職、看護職、他(必要に応じて専門職)	各計画検討(介護・栄養・機能)
介護付有料	ユニット会議	第**週	**	生活相談員	生活相談員、計画作成担当者、介護職、看護職、他	ユニットにおけるケアの検討・確認
	ケースカンファレンス (各困難事例検討)	随時	随時調整	生活支援部	各事例に合わせて	食事・認知症困難事例 入・退院振り等
	運営推進会議(※3)	9月・3月	**	デイサービス 主任	施設職員、利用者、利用者家族、地域住民代表(町内会長、民生委員等)、市職員、地域包括支援センター職員、地域密着型サービスの知見を有する人など	県・向上を認める自己評価や外部評価結果の周知、目標達成計画の進捗確認、情報交換と共有、要望の把握
通所	デイ会	第**週	**	デイサービス 主任	デイ主任、デイ介護職、デイ看護職、居宅ケアマネ、他	デイサービスにおける業務・事例検討 職員研修
	週例会	第**週	**	居宅ケアマネ	デイ主任、デイ介護職、デイ看護職、居宅ケアマネ、他	多職種協働による事例検討
居宅支援	地域ケア会議	**	**	**	介護保険関係情報、介護用品紹介等	
	包括・在宅連絡会	**	**	**	地域高齢者の情報交換、連絡事項伝達	
	介護ネットワーク	**	**	**	事業者間サービス実績確認、情報確認 研修、親睦会	

(※1)2.運営推進会議については地域密着型サービスにおいて、必要な会議であるが、併設事業に右において、1体運営可能(おおよそ2か月に1回以上)
(※3) 〃 (おおよそ2か月に1回以上)

2019年度(年度)会議・委員会

<2019年5月～2020年4月末>

【委員会】

部門	会議名	開催日	時間	責任者	参加者	内容
全体	身体拘束虐待防止委員会	第**週	**	生活相談員		身体拘束・虐待防止の研修と事例検討
	衛生管理委員会 (メンタルヘルス委員会含)	第**週	**	看護主任 介護主任		感染予防の研修と発症時の対応と報告
	事故防止委員会	第**週	**	各ケアマネ 機能訓練指導員	施設長/部長/課長/主任、各事業担当者	事故報告の検討と再発防止対策
	栄養/給食委員会	第**週	**	管理栄養士		委託先業者を交えての給食に関する報告と検討
	褥瘡予防委員会	第**週	**	看護主任 介護主任		褥瘡予防の研修と予防・対応の検討
	人権擁護並びに苦情相談委員会	年1回以上	随時調整	各部長	施設長/各部長/各課長/各主任	利用者の権利擁護及び苦情申出に対し公正かつ適正に解決することを目的とする
	防火管理(消防訓練他)	年間4回	随時調整	防火管理者	全職員	救命講習と消防訓練の計画・実施
	在宅委員会	第**週	**	在宅支援 部長	理事長/施設長/部長/課長/主任	在宅版総合記録シートの導入、困難事例の検討、おこし遊戯・出前講座の企画及び調整
	入所判定委員会	3ヶ月1回	随時調整	生活相談員	施設長/部長/課長/主任/外部委員2名	特養入所判定基準に基づき入所者の検討
	特養					

2019年度(年度) ガリラヤクス米 研修計画(案)

研修項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外部研修(全体)	その他(年間通して) 中予・県老人福祉施設協議会主催各研修											
各資格取得試験(全体)	介護支援 専門員試験											
外部研修(全体)	NPO法人 全国高齢者 ケア研究会											
内部研修(各部門)	介護福祉士 実習試験											
真摯介護	新人研修 回数 **	2	2	2	2	2	2	1	2	1	2	1
介護-看護-他 (一般職)	内容	新人/現任研修 主任以上	認知症 生活支援部 リーダー以上	食中毒 生活支援部 リーダー以上	排泄 生活支援部 リーダー以上	生活支援部 リーダー以上	褥瘡 生活支援部 リーダー以上	生活支援部 リーダー以上	入浴 生活支援部 リーダー以上	介護50 施設長	移乗 生活支援部 リーダー以上	
介護-看護-他 (一般職)	内容	6回×2 (60m)	3回×2 (60m)	5回 (60m)	2回 (60m)	2回 (60m)	2回 (60m)	2回 (60m)	2回 (60m)	2回 (60m)	2回 (60m)	2回 (60m)
介護-看護-他 (リーダー以上)	内容	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア
各試験対策講座	内容	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア
トータルケア研修 (泉田先生)	内容	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア
事故防止	内容	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア
衛生管理	内容	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア
身体拘束虐待防止	内容	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア
タ-ミナルケア	内容	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア
口腔	内容	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア
その他	内容	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア
接遇	内容	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア
防災・救命・防犯	内容	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア
職員会議	内容	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア
デイサービス	内容	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア
グループホーム	内容	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア
居宅介護支援	内容	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア	講習 GH 居室 在宅 ケア

外部: ①松山市地域包括支援センター・小野・久米町強会 ②難病研修会 ③愛媛県介護支援専門員研修等